

YWVOB会 会報 No.52

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会

<http://ywvob.com/>

2012年12月23日発行

～ 52号の目次 ～

• YWVOB 会長ご挨拶	1	• 第 35 回 OB 山行（滝子山）報告	10
• 2013 年度 OB 総会		• 2013 年度 OB 山行予定	11
総会報告	2	• 第 36 回 OB 山行（筑波山）案内	12
決算報告・予算	4	• 苗名小屋便り	13
役員一覧	6	• 第 24 回シニア OB の集い報告	15
OB 会員近況報告	6	• 写真で見るワングル今昔	19
• 2012 年第 4 回役員会	8	• 編集委員会から	19

■ YWVOB 会長ご挨拶

会長 鈴木弥栄男（9 期）

2012 年 10 月 27 日の横浜国大ホームカミングデーに合わせて、我々 YWVOB 総会を開催した。現役 4 人を含む総勢 36 名が参加し、34 名がホームカミングデーの交流会に参加したことを先ず報告したい。その詳細はこの会報で紹介しているので、それを参照して下さい。

日本では高齢者が 4 人に 1 人の割合であり、今後増え続けると予測され、医療技術の進歩と相俟って、高寿命化が更に進むと思われる。企業も退職年齢の引き上げを図り、蓄積した知識を活用すべく、高齢者の再雇用に努力はしているが、それには限りがあり、第二の人生を自分から探してゆく必要があるのは否めないことである。

そんな中、ワングル部に所属して、何らかの活動をした諸先輩も、ボランティア活動などを通じて社会に貢献している、若しくは、しようとしているのをよく耳にする。それと同時に回帰現象というか、昔の仲間と一緒に登山、トレッキング、ハイキングをし、また旧所名跡巡り、海外旅行など歩きを主体にした活動や、家族団欒・読書・研究・陶芸・刺繍・絵画・書・俳句等々、脳を活性化させる活動などを楽しんでいるのは素晴らしいことである。OB 会はそれらの活動をサポートする役割があると考えている。大いに OB 会を活用して欲しいものである。



総会風景



鈴木会長

2013年度 OB総会報告

総務委員長 横溝真司 (21期)

総務副委員長 白木政隆 (21期)

【実施日時/場所】

2012年10月27日(土) 常盤台キャンパス(経営学部105号室)
(総会) 9:30~11:30 (懇親会) HCD交流会会場にて

【出席者】

OB 32名

嘉納(1)、佐藤(1)、吉野(2)、米屋(2)、塚原(2)、吉村(3)、郡司(4)、平沼(8)、溝田(8)、早坂(8)、鈴木(9)、
下村(10)、山川(12)、榎本(12)、小浜(17)、白須(17)、梅野(17)、向井(18)、山口(18)、堀内(18)、笛木(19)、
武藤(20)、安武(20)、白木(21)、横溝(21)、山崎(22)、伊藤(23)、和多(28)、松本(29)、笹倉(30)、小野(34)、
親跡(34)

現役 4名

斉藤(54)、谷口(54)、軍司(54)、古矢(55)

【議事内容】

1. 定足数確認(横溝総務委員長)

定足数…26期 出席…32名(17期) 委任状17期を加え定足数に達している。 現役4名参加。
議長…白木(21)、書記…武藤(20)

2. 開会の挨拶と2012年度年間総括・2013年度活動方針(鈴木会長)

(年間総括)

- ・HP委員会 2007年7月開始 最大値 400回/日 2012年は平均69回/日。
- ・OB山行委員会 3回実施。両神山は25名 平均は17名→21名に増加。
- ・OB小屋委員会 現役も参加するようになった。友人を連れてくるなど広がりが見られた。
- ・編集委員会 50号はカラー版にて発行。座談会を実施。
- ・総務委員会 名簿のあり方について議論中。
- ・部史編纂委員会 今後の運用方針と名簿データとの関連調整。

(活動方針)

- ・山小屋床下のかび問題等対応を検討していく。
- ・会計について単年度では収入<支出の構造になっており、今後の検討が必要。
- ・会報等の費用は大きいですが、紙媒体は捨てがたくIT化の流れを含め検討が必要。

総会後の
集合写真



3. 2012 年度年間総括・2013 年度活動方針（各委員会補足）

- 1) OB 山行委員会（山口委員長）
 - ・三頭山、両神山、滝子山の山行を報告する。
 - ・実働 6 時間以内で計画、難易度の目安として星印を付けた（アンケート結果からの提案）。
 - ・2013 年は 1 月筑波山、5 月丹沢山、10 月日光白根山を計画している。
- 2) OB 小屋委員会（榎本委員長）
 - ・床下かび対応→換気等を検討。
 - ・11 月 10 日、11 日 小屋整備 現役参加予定。
 - ・2013 年冬予定 1 月、2 月、3 月 スキー、雪下ろし。
 - ・2013 年予定 例年通り実施。
- 3) HP 委員会（吉村委員長）
 - ・実際の YWV の HP を見ながら説明を実施。個人情報保護の観点での掲載方法の変更実施説明。
- 4) 総務委員会（武藤副委員長）
 - ・名簿管理のあり方、今後の検討事項について説明。
- 5) 部史編纂委員会（嘉納委員長）
 - ・歴史資料館 HP を見ながら WEB page を説明。今後運用方針を検討していく。
- 6) 会計（吉野会計幹事）
 - ・決算資料（配布）にて説明。
 - ・2013 年度については例年並みの計画で実施。
- 7) 監査報告（山崎監査役）
 - ・会計監査と業務監査を報告。
- 8) 質疑応答
 - ・小屋の木の切り倒し、当日のアンケートの回収方法等についての質疑があった。

4. 2012 年度事業報告と 2013 年度計画についての採決（一括採決） 満場一致で承認された。

5. 役員改選及び新役員選出

- 1) 特別決議（会長、委員長、副委員長）
（会計幹事/再任）吉野（2）、（会計幹事/新任）松本（29）、（総務副委員長/新任）山川（12）
満場一致で承認された。
- 2) 通常決議
（OB 小屋委員）田中（34）、（HP 委員）親跡（34）、（部史編纂委員）武藤（20）
満場一致で承認された。
- 3) 新 OB 会員の承認
安藤（15）、佐藤、三国（53）、岡本（55）
満場一致で承認された。

6. 現役の活動報告（斉藤主将）

活動報告では、特に山小屋への活動が増えてきているとのこと。

7. 閉会の挨拶（横溝総務委員長）

ホームカミングデーの交流会でイベントの一環として、ワンゲル一同は円陣を組んで「みはるかす」を合唱し、エールを行い、交流会を盛り上げました。その様子は OB 会のホームページに動画で掲載しておりますので、ご覧ください。



交流会でのワンゲルの円陣

2012年度一般会計決算

(2011.10.1～2012.9.30)

前期繰越	1,184,871	1,184,871
------	-----------	-----------

収入

費目	予算	実績	差額
年会費	100,000	100,000	0
前納会費	370,000	368,333	-1,667
一般寄付金	50,000	57,077	7,077
小屋寄付金	100,000	73,078	-26,922
総会参加費	0	0	0
山行参加費	24,000	27,400	3,400
名簿郵送関連	8,000	7,000	-1,000
その他収入	800	320	-480
計	652,800	633,208	-19,592

(前納会費 370,000 368,333)

(延人員 222名 221名)

(今年度納入 12名 12名)

支出

費目	予算	実績	差額
会報作成・発行費	350,000	304,580	-45,420
小屋会計振替	150,000	150,000	0
役員会費用	30,000	27,260	-2,740
総務委員会費用	40,000	45,927	5,927
山行費用	30,000	33,172	3,172
HP委員会費用	15,000	14,125	-875
部史編纂委員会費	45,000	20,280	-24,720
その他(予備費)	100,000	116,740	16,740
計	760,000	712,084	-47,916

当期収支 -107,200 -78,876 28,324

次期繰越 1,077,671 1,105,995 28,324

(前納会費繰延 758,333 760,000)

2012年度OB小屋会計決算

(2011.10.1～2012.9.30)

前期繰越金(2011.10.1)	541,500	①
------------------	---------	---

2012年度収支計算書

収入		
OB会計より振替		
・小屋寄付金	150,000	
小屋宿泊料金	56,426	
預金口座利子	161	
その他寄付	6,376	
OB小屋会計収入合計	212,963	②

支出	
小屋地代	10,000
除雪費用	0
除雪作業補助	7,000
小屋整備修繕(DIY・床張替)	64,439
振込手数料	0
OB小屋会計支出合計	81,439

当期収支(②-③)	131,524
-----------	---------

次期繰越金(2012.9.30)	
預金(①+②-③)	673,024

2012年度 主な支出

(2011.10.1～2012.9.30)

会計	費目	内容	金額	備考
一般会計	総務委員会費用	交流会補助32人	32,000	
		会報作成費	77,280	
	部史編纂委費用	会報51号印刷費	70,140	
		レンタルサーバ代	15,000	
	その他(予備費)	現役消耗品代補助	50,000	
		五八木おばあさん香典	30,000	
	現役夏合宿壮行会	27,700		
小屋会計	小屋整備費	ペンキ・豆炭	14,288	
特別準備金	活用対象C	タープ等	12,877	
		会報50号記念号印刷費	150,000	

2012年度特別準備金収支

(2011.10.1~2012.9.30)

前期繰越	5,296,046		
収入		支出	
		会報50号記念号印刷費	150,000
計	0	計	150,000
		次期繰越	5,146,046

一般会計貸借対照表

(資産)		(負債)	2012.9.30
振替口座	608,577	次期繰越	1,105,995
通常貯金	605,178	繰越前納会費	760,000
定額貯金	1,238,000	前受金	586,500
仮払金	740		
計	2,452,495	計	2,452,495

特別準備金貸借対照表

(資産)		(負債)	2012.9.30
通常貯金	146,046	特別準備金	5,146,046
定額貯金	5,000,000		
計	5,146,046	計	5,146,046

2013年度一般会計予算

(2012.10.1~2013.9.30)

(12年度実績) (13年度予算)

前期繰越	1,184,871	1,105,995
------	-----------	-----------

(収入)

費目	12年度実績	13年度予算	差額
年会費	100,000	100,000	0
前納会費	368,333	336,667	-31,666
一般寄付金	57,077	50,000	-7,077
小屋寄付金	73,078	100,000	26,922
総会参加費	0	0	0
山行参加費	27,400	24,000	-3,400
名簿郵送関連	7,000	7,000	0
その他収入	320	0	-320
計	633,208	617,667	-15,541

(前納会費 368,333 336,667)
 (延人員 221名 202名)
 (当年度納入 12名 50名)

(支出)

費目	12年度実績	13年度予算	差額
会報作成・発行費	304,580	350,000	45,420
小屋会計振替	150,000	150,000	0
役員会費用	27,260	30,000	2,740
総務委員会費用	45,927	40,000	-5,927
山行費用	33,172	30,000	-3,172
HP委員会費用	14,125	15,000	875
部史編纂委員会費用	20,280	20,000	-280
その他支出(予備費)	116,740	100,000	-16,740
計	712,084	735,000	22,916

当期収支 -78,876 -117,333 -38,457

次期繰越 1,105,995 988,662
 (繰越前納会費 760,000 933,333)

2013年度OB小屋会計予算

(2012.10.1~2013.9.30)

前期繰越金(2012.10.1)	673,024 ①
------------------	-----------

2013年度収支計算書

収入	
OB会計より振替 ・小屋寄付金	150,000
小屋宿泊料金	30,000
預金口座利子	0
OB小屋会計収入合計	180,000 ②

支出	
小屋地代	10,000
除雪費用	0
除雪作業補助	50,000
小屋整備修繕(DIY・他)	120,000
振込手数料	1,000
OB小屋会計支出合計	171,000 ③

当期収支(②-③)	9,000
-----------	-------

次期繰越金(2013.9.30)	682,024 (①+②-③)
------------------	-----------------

役員一覧

▲・・・2012.10.27再任 △・・・2012.10.27就任
 ■・・・2011.10.29再任 □・・・2011.10.29就任
 ●・・・2010.10.30再任 ○・・・2010.10.30就任

会長	鈴木弥栄男 (9) ■	OB小屋委員	笹倉 実 (30) ■
幹事長	西田 雅典 (20) □		安本 健一 (30) ■
会計幹事	吉野大次郎 (2) ▲ 松本 和之 (29) △		田中 義人 (34) ▲ 親跡 冬樹 (34) ■ 村山 浩樹 (34) ■ 田村 颯洋 (34) □ 石川 真 (41) □
総務委員長	横溝 真司 (21) ■	編集委員長	石垣 秀敏 (20) □
総務副委員長	山川 隆 (12) △ 武藤 功二 (20) ■	編集委員 (兼)	成島 和仁 (22) □
総務委員	白木 政隆 (21) ■ 白須 謙治 (17) □ 成島 和仁 (22) ○ 渡邊 隆史 (36) ■ 茂呂 将典 (51) □	ホームページ委員長	吉村 元孝 (3) ●
OB山行委員長	山口 貢三 (18) □	ホームページ副委員長 (兼)	鈴木弥栄男 (9) ●
OB山行副委員長	小浜 一好 (17) ■ 小野恵美子 (34) □	ホームページ委員 (兼)	石垣 秀敏 (20) ○ 親跡 冬樹 (34) △
OB小屋委員長	榎本 吉夫 (12) ○	部史編纂委員長	嘉納 秀明 (1) ●
OB小屋副委員長	後藤 誠史 (39) ■	部史編纂副委員長	安武 和俊 (20) □
OB小屋委員会会計担当 (兼)	松本 和之 (29) ●	部史編纂委員	金田 精彦 (3) ○ 谷上 俊三 (4) ○ 菅谷 光雄 (6) ○ 山下 暁 (17) ○ 菅木 久栄 (19) ○ 石垣 秀敏 (20) ○ 武藤 功二 (20) △ 横溝 真司 (21) ○ 白木 政隆 (21) □ 塩野 貴之 (46) □
OB小屋委員	郡司 直樹 (4) ■ 諸角 壮弼 (5) ■ 菅谷 光雄 (6) ■ 小口 雄平 (14) ■ 鈴木 道夫 (14) ■ 向井 良作 (18) ■ 堀内 章子 (18) □ 笛木 久栄 (19) ■	監査役	山崎 晃 (22) ○

OB 会員近況報告 (総会ハガキより)

総務委員 (名簿係) 渡邊隆史 (36期)

期	姓名	近況
1	吉田 光志	75才を目前に残念ですが本OB会からの退会をお願い致します。在学中は野球部90%、WV10%くらいの活動を楽しませて頂きました。現在は、町の環境ボランティア活動で約30名の会長をさせられ、多い時は20回/月くらいのフィールドワークをして居ります。長い間ありがとうございました。
1	桑原 忠雄	持病の腰痛に悩ませられながらも、何とかやっております。
1	田上 栄一	元気しております。たまに、六甲山に登っています。
2	西村 郁代	仲秋の名月の候、豆やら、芋など供えて月を愛でる年になりました。今夏は京都の風物詩なる、下鴨神社のみたらし祭でみそぎをして厄祓いし、五山の送り火を一望できるところへ参りました。まず一番に東山の如意ガ岳の「大」の文字に点火され、数分後、正面に「妙法」「船形」が燃え、「左大文字」「鳥居形」がちらちらと、次々に浮かびあがり、思わず「ワー!!」歓声。精霊送りを惜しむより、あつい気が湧いてきました。ところであと何年、元気に歩けるかなと思う此頃、コーラスのレッスンに専念しております。1期の佐藤さんから「低山三角点ツアー」の提案がありました。<健やかな良き人たちとワンダリングし、OB会の縁、心に刻む>
3	井上 肇	前回、中小企業向けの環境管理システムのエコアクション21の審査員をしている旨を送付しましたところ、OB会メンバーの中に仲間がいるとの連絡を頂き、うれしく思っております。

3	栗田 武寿郎	いつもお世話さまです。皆様お元気でしょうか。子供がガンを患い、苦闘の日々が続いています。皆様、健康には十分ご留意を!
3	平林 茂	年々、心身のおとろえを自覚するのが8月です。今年は8/18,19地元のお祭りを裏方として活動(町会役員なので)。8/25,26は「ふるさと南河原盆おどり」(40年近く続いている)を表と裏で大活躍。来年もなんとかできるかなとは思っているけど、結構きつい。こんな感じで、地域ではいづっています。
4	永田 明彦	今年は春に関西(京都と奈良)を歩き、その後は近くの山で山菜取り。7月にはこれでお仕舞いとツアーでスイスに出かけました。8泊9日と短かったですが、7回簡単なハイキングができ、一杯花を見て、写真を沢山撮ってきました。北海道の山で見られる花もありました。9月中旬過ぎには北海道・大雪山の紅葉に出かける予定です。
8	平沼 茂	元気でやっています。シニアOB会で楽しんでます。
8	高橋 弓子	山歩きをしていないのですが、少しずつ里歩きから山歩きへと思っています。
8	綾部 和子	今年の夏は3年ぶりに2泊3日で燕岳-大天井岳-常念岳を縦走してきました。天気に恵まれ山頂からはもちろん縦走路でも展望に恵まれ、わくわくしながら歩きました。大キレットの先に白山が見えた時は感動! コマクサの群生がどこまでも続いていて、ライチョウがそれを食べているのを見たのも感動でした。
9	鈴木 弥栄男	定年退職後、丸5年が過ぎ、①ISO審査員としての活動 ②NPO法人での社会奉仕 ③WVOB会を始め多くのOB会での活動の3本柱にて動き回っています。
9	三浦 煌太郎	山登りを楽しんでおります。
10	下村 蓉子	9月21日に10期の丸山さんのお声かけで鎌倉で開かれている写真展に幡部さん、松井さん、丸山さん、下村の4人が集い楽しい一時を過ごしました。10期の皆様、来年9月ぜひご参集ください。丸山さんの写真、ステキですよ。
13	太田 繁信	昨年、知人が始めた「ソーラーシェアリング実証試験」の手伝いで1月に2~3回千葉県通いをしています。太陽光発電に関しての画期的な方策の追求がテーマです。「ソーラーシェアリング」で検索をかけてみてください。 並行して、山登りも続けています。今夏は加賀白山、南ア(茶臼~上河内)でした。
13	村松 清一	昨年、病気のため計50日程入院しました。そのため、最近山登りをめっきりしていません。しかし、体調を考えながらこの秋から、少しずつ歩き始めたいと考えています。
15	岩船 芳人	本年4月末にて定年退職しました。しばらくしたら職探しを始めようと考えています。
17	葛窪 真紀子	OB山行 滝子山 秋の恵みもgetしてとても楽しく気持ちの良い山行でした。
18	勝山 謙太郎	元気でやっています。先日2?期の「男会」に参加させてもらい、楽しい時間をすごしました。
19	笛木 久栄	大学2年の時以来、心の中でいつかもう一度と思っていた火打山に8月やっと登ってきました。花の宝庫の山道に感激しました。
20	作山 栄一	皆様をはじめ数多くの方々のご支援をいただき、東日本大震災からの復旧・復興に向けて頑張っています。地元の工務店という仕事柄から毎日があわただしく過ぎてしまい、20期の納涼会にも参加できないのが残念です。
23	伊藤 忠彦	(横国大の)今年度のホームカミングデイの実行委員として参加しています(メイン講演担当)。総会は欠席ですが、会場でお会いできたらうれしいです。
23	丸茂 俊二	今年から家族山行を始め、今夏は金峰山、月山へ行きました。そこで山ガールを見た17才の娘は、BS3の百名山などの山番組を見て、山ガールのファッションをあれこれ批評し、私も一式欲しいとこぼしています。健康維持のため、少しずつ続けねばと思っています。
28	梅田 祥司	今年久しぶりに八ヶ岳の赤岳に登りました。天気に恵まれて最高の展望でした。来年は、息子と富士山に行く予定です。
35	土方 康裕	今年は、利尻山、那須岳に登りました。
36	原田 修平	全校生徒45名の小さな学校、1年担任 理科担当 バドミントン部顧問 をしています。
37	佐々 健太郎	第一三共を退職し、秋田市の特許事務所にお世話になることになりました。

■ 2012年 第4回役員会報告

幹事長 西田雅典 (20期)

総務副委員長 白木政隆 (21期)

2012年10月20日(土) 14:00 から川崎市「てくのかわさき」にて第4回役員会が開催された。

【出席】 嘉納(1)、吉野(2)、吉村(3)、鈴木(9)、榎本(12)、山下(17)、堀内(18)、山口(18)、笹木(19)、石垣(20)、武藤(20)、白木(21)、横溝(21)、山崎(22)、松本(29)、笹倉(30)、親跡(34)
<現役> 齊藤(54) 以上 18人

【内容】

1) 各委員会報告

①総務 (横溝、武藤) :

- ・名簿管理と活用法につき来年にかけて仕組みを作る。
- ・メーリングリストや歴史資料館との連携、個人情報管理のルール作り、セキュリティ管理などに配慮
- ・名簿係の変更： 渡邊⇒武藤

②OB 小屋 (榎本) :

- ・2013年度の雪下ろし、イベント検討中
- ・スノーシュー購入、除雪機の利用を検討中

③編集 (石垣) :

- ・会報第52号は原稿締切11/16、発行12/23の予定

④OB 山行 (山口) :

- ・2013年度山行計画は百名山、温泉も織り込む
- ・1/19 筑波山、5/18 丹沢山、10/19 日光白根山を計画

⑤ホームページ (吉村、鈴木) :

- ・「なりすまし犯罪」の対策で名簿等は不正アクセスできない場所に置く (特にオープンHPで公開する情報の内容整備が必要)



⑥部史編纂（嘉納）：

- ・2013年度以降の公開に向けての検討
- ・名簿管理との連携、セキュリティ確保、委員へのプログラミング研修実施

⑦会計（吉野）：

- ・支出超過状態が継続しており2014年度に向けて収支計画のあり方検討
- ・支出内容の精査、単年度赤字の補填なども要検討

⑧監査（山崎）：

- ・会計監査、業務監査を実施し問題ないことを確認
- ・役員会外の委員会活動も活発化しており監査の対象としていく

⑨現役からの報告（54期齊藤主将）：

- ・OB会からのザック（3個）の協賛への感謝
- ・11月小屋、12月（文化祭）箱根散策、年末は小屋スキー合宿
- ・留学生とのコラボ山行を検討中

⑩その他

- ・60周年記念事業の立ち上げを今後検討する

⑪次回、OB総会議事：

- ・当日は9:00集合。会場までの標識作成、懇親会の席の目印作成、エールは懇親会のイベントに組み込まれる予定
- ・現時点で51期中、18期（27人）が参加予定
- ・（特別決議）吉野氏会計幹事再任、松本氏会計幹事新任、山川氏総務副委員長新任、
- ・（一般決議）田中氏OB小屋委員、親跡氏HP委員、武藤氏部史編纂委員
- ・（新OB会員承認）安藤（15）、佐藤、三国（53）、岡本（55）
- ・総会アンケートは昨年の意見につき委員長のコメントを入れて、内容充実と更なる活用を目指す。

2) 次回役員会予定：2013年1月26日（土）14:00～

場所：てくのかわさき（武蔵溝ノ口）5F 理容・美容実習室

以上



■ 第35回 OB山行（滝子山）報告

OB 山行委員長 山口貢三（18期）

[日程] : 2012年10月13日（土）

[参加者] : 嘉納(1)、吉野(2)、谷上(4)、佐木、早坂、早坂(8)、鈴木(9)、山本(10)、山川、※榎本(12)、小口、吉田(14)、葛窪、小浜(17)、山口、堀内、岡田(18)、小野、親跡(34) 参加人数計 18名

※偵察山行参加

[実働] : 笹子駅 7:40（大月駅 8:30—タクシー）—道証地蔵 9:00—11:30 滝子山—12:00（昼食）12:35—大谷ヶ丸 13:36—14:06 米背負峠—14:45 大蔵林道—16:05 やまと天目山温泉 17:10—バス—17:20 甲斐大和駅 17:30

滝子山は南大菩薩連嶺の最南端にふさわしい立派な山である。また笹子駅から登って初狩駅に下山できアブローチの良さから中央線沿線では人気の山のひとつである。しかしながら「山」と言えば「温泉」とこだまのように跳ね返る YWVOB 会においては、この沿線には温泉がないことが滝子山から遠ざかっていた大きな要因でもあった。しかし色々調べてみて滝子山から北に縦走し米背負峠から天目山温泉に向うガイドブックに載ってないルートが存在を見つけたことで、ひとつの問題が解決した。それでも若干歩行時間がいつもより長くなることの懸念があった。そこで本番では笹子駅から歩く組と、大月駅からタクシーを使う組に分かれてもらうことで、歩行時間の問題も決着した。

当日9時、初参加の18期岡田さん、久しぶりの17期葛窪さんを加えた18人が道証地蔵に集合、いつものように自己紹介をすませ出発した。ルートは沢沿いにあり、滝子山の名前にもあるように水流の豊富なナメ滝や3段の滝などが連続して現れるので単調な登りの疲れも消してくれる。2度目の休憩をとるあたりから水流も緩やかになりやがて源頭と思われるところまで詰めると、見通しのよい広い尾根となり大菩薩連嶺の稜線に到着した。滝子山へはここから往復となる。三角点のない最高峰である1620mの山頂に立った。そこには360度の大展望が広がっていた。まず富士山の圧倒的な大きさが目に入る。そして、八ヶ岳、奥秩父、大菩薩方面、南アルプス北部と一同大感激に浸る。

記念撮影の後ここから元来た道を少し戻った広い草地で昼食を摂った。ここからは大谷ヶ丸方面に向かう縦走路となるが、頂上にいた人々は殆どが初狩駅に向うようで、ここからは踏み跡も小さく、倒木もそのままにされた心細い道になっていて、我々だけの静かな山を味わうことができた。そこは植林もなく自然の姿が残された癒しの森といった風情で、もうすぐ素晴らしい紅葉の時期を迎えるはずだ。縦走1時間ほどで今回の最高点である大谷ヶ丸（1644m）に到着したが、展望はないのでここはおまけである。米背負峠からは沢沿いを一気に下るとたちまち舗装、橋のある人工的な林道に到着した。やれやれと一休みし、ここからはいくつかのグループに分かれ、栗拾いや近況の話などして1時間の林道歩きでやまと天目山温泉に全員元気に到着した。



滝子山山頂にて：1期～10期です。
背筋が伸びて堂々の立ち姿。

滝子山山頂にて：12期～34期です。座ったまま失礼。



2013年度OB山行予定

OB 山行委員長 山口貢三 (18 期)

2012 年度 の OB 山行は、34 名延べ 77 人、平均すると 1 回につき 20 名以上の参加がありました。

また初参加が 7 人と徐々に参加者が増えています。初参加で仲間に入れるかという心配は誰もあるようですが、出会った瞬間に打解けているところが OB 会のいいところです。とにかく楽しいのだから本当に不思議ですね。

会員の親睦を図ることを目的に 2013 年も 3 回の山行を計画しました。詳しい案内は、会報およびメルマガでお知らせします。多くの会員の参加をお待ちしています。

●第 36 回 筑波山 (875m) 1 月 19 日 (土)

筑波山神社～男体山～女体山～筑波山神社 (歩行時間 3 時間 30 分)

体力度 ☆

筑波山神社で山行安全をお祈りしたら、みんなでワイワイと登ります。

●第 37 回 丹沢山 (1567m) 5 月 18 日 (土)

塩水橋～堂平～丹沢山～塔ノ岳～新大日～札掛 (歩行時間 5 時間 30 分)

体力度 ☆☆☆

人気の最短ルートで丹沢山に登り、塔ノ岳からは一転して静かな尾根を札掛まで下ります。

公式ワンダリングでは 1970 年以降、札掛の記録が途絶えています。

札掛はさてどんな所でしょうか。お楽しみに。

●第 38 回 日光白根山 (2578m) 10 月 19 日 (土)

丸沼高原ロープウェイ駅～日光白根山 往復 (歩行時間 4 時間 30 分)

体力度 ☆☆☆

ロープウェイができたことで申し訳ないくらい簡単に日帰りが可能になっています。

マイカー利用で山行委員会が配車を計画します。

お申し込み方法は、会報、メルマガをご覧ください。

上記山行で都合がつかない方は、山行委員会による偵察山行に一般参加することもできます。偵察日はメルマガで案内を見るか、直接お問い合わせください。



OB 山行 滝子山の続き・・・

温泉が本日のゴールです。お疲れ様でした。



■ 第36回OB山行（筑波山）案内

OB 山行委員長 山口貢三 (18期)

衣手 常陸の国 二並ぶ 筑波の山を 見まく欲り。筑波山は標高こそ低いが万葉の頃からよく詠われているようにその双耳峰が特徴の美しい山です。それゆえに百名山のひとつに挙げられています。しかし現役公式ワンダリングでは前例がありません。(YWV 歴史資料館の検索結果) 私もケーブルカーで登ったことはありますが、正直に言えば登山として捉えていませんでした。それから数十年を経て2003年2月第46回シニアOB山行が筑波山で行われ31名の方々が登山されています。このときは雪が降っているにも関わらず寒い中を元気に登る姿がHPのアルバムに残っています。途中にはいくつかの奇岩もあり、ケーブルカーではわからない楽しみもあることがわかりました。そんなわけで2013年度の最初を飾る山行は、筑波山に決定しました。

前置きが長くなりましたが、筑波山といえば「がまの油」。その油売りがいる筑波山神社から登ります。登りの標高差は630m、歩行距離は8km程度なので、気楽に登れます。

初参加の方、お久しぶりの方、大歓迎！多くの方のご参加をお待ちしています。

また毎月のメルマガでもお伝えしますので、お見逃しなく。

〔日程〕 2013年1月19日(土)

〔行先〕 筑波山(つくばさん・875m)

〔地図〕 昭文社山と高原地図20「赤城・皇海・筑波」

〔集合・交通〕 電車：つくばエクスプレス線つくば駅から9:00発の筑波山シャトルバスに乗車
筑波山神社入口(9:36着)で下車

マイカー：常磐自動車道土浦北ICより、国道125号線経由約40分 神社周辺の駐車場に
筑波山神社に9:50までに集合

〔行程〕 10:00 筑波山神社→11:30 御幸ヶ原→11:40 男体山→11:50 御幸ヶ原 12:20→12:35 女体山 12:45
→13:15 弁慶茶屋跡→14:00 筑波山神社

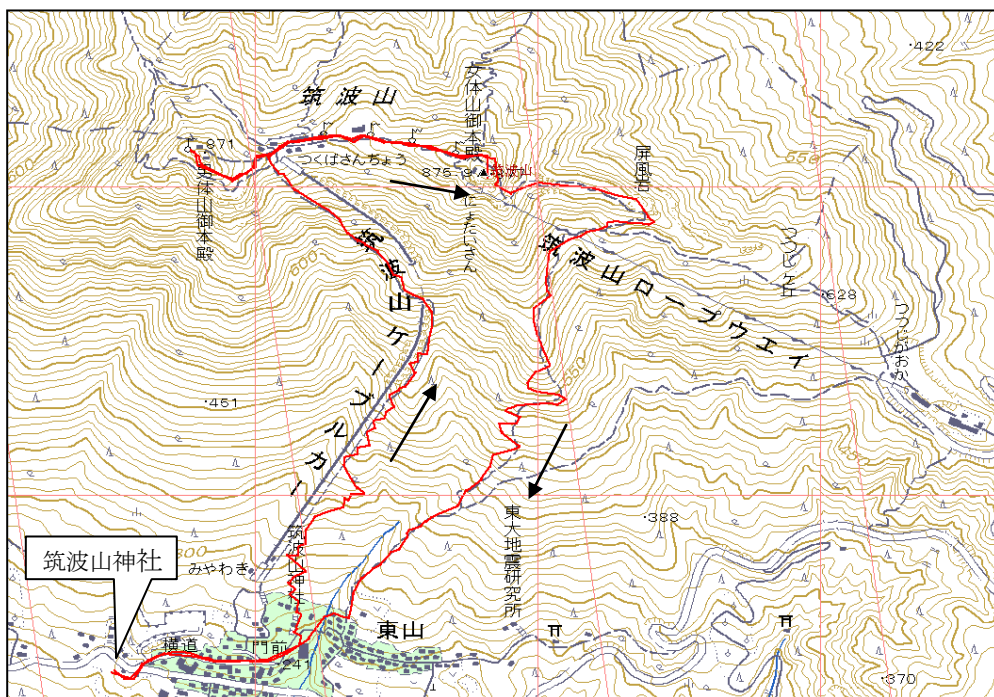
(歩行時間3時間30分) 体★ 技・危★

〔参加費〕 500円 〔持ち物〕 昼食、水、おやつ、雨具、防寒具

〔申込み〕 参加ご希望の方は1月11日までに下記のいずれかにご連絡ください。

小浜一好(17期) 山口貢三(18期) 小野恵美子(34期)

メール：sanko-ywvob@yahogroups.jp



■ 苗名小屋便り

小屋委員長 榎本吉夫 (12期)



11月小屋閉め作業中のなえな小屋

11月9日(金)～11日(日)に、今シーズンに小屋締め作業を行いました。現役からは、54期齋藤さん、谷口さん、56期畑さん、大歳さん、長塚さんの5人参加、OBからは、常連の小口さん(14)、松本さん(29)、笹倉さん(30)、田村さん(34)、後藤さん(39)とお子さん2人の総計13名の参加でした。天気は曇りの雨模様でしたが、恒例の夕食、バーベキュー時には降らず、楽しいひとときを過ごしました。11日(日)の午後には、予定の作業が完了し、冬の備えが整いました。

これに先立つ8月の盆休み週間の8月11日(土)～19日(日)には、前後半に分かれましたが、総勢8名と諸角夫妻ファミリー(12名)の参加で夏の小屋行事を行いました。また10月6日(土)～10日(火)に、秋の恒例行事である「きのこ狩り&小屋整備」を行いました。参加者は、前&現会長の嘉納さん(1)、鈴木さん(9)を始めとし、きのこアドバイザーの諸角夫妻(5)、高須さん(5)、松本さん、笹倉さん、三井(肥塚)さん(46)とお子さん、現役は、齋藤さん、谷口さん、大歳さん、中山さん、畑さんの5名、そして三井さんが所属の聖マリ医大の大井さんの総計16名の参加をいただき、きのこ狩りや笹ヶ峰散策と恒例が復活?した現役のキジ汲みを含む小屋整備を実施いたしました。(カッコ内の数字は期です)

既に、ホームページで報告していますが、8月、10月、11月の小屋行事の様様を写真で紹介します。



小屋整備に励む現役諸君！(8月)



早朝のなえな小屋と小屋を去る現役と大御所池原さん(8期)(8月)



収穫したきのこ！（三井さんとお子さん）そしてきのこ調理中の女性陣（10月）



火熾し苦戦中？の現役（10月）



焼きそばの現役畑さん（10月）



嘉納前会長床下防腐剤の陣頭指揮（10月）

【今冬（2013年1月～3月）の予定】

- 第1回雪下ろし：1月12日（土）～14日（月）
（雪の状況により19日（土）（OB山行！）20日（日）または26日（土）（役員会？）27日（日）
（現役スキー合宿（予定）年末予定）
1/12-14は例年ですと降ろす必要性があるほどは積もっていない場合が多いので変更あり。
- 第2回雪下ろし：2月9日（土）～11日（月）
→雪が多い場合、2月～3月にもう1回必要。
- 第3回雪下ろし：3月16日（土）～17日（日）
或いは23日（土）～24日（日）&春の小屋行事
例年、雪下ろしの参加者集めには苦勞しておりますので、可能性のある方は、早めのリザーブ！をお願いします。



伐採準備の現役3人



きこり！（10月）

たぶんメインは2月の第2回となりますのでよろしくお願いいたします。また、降雪の状況によっては、緊急招集もお願いする可能性もありますので、その際はよろしく。



2年前、安藤さん（11期）が植えしたきのこです！

■ 第24回シニアOBの集い報告

第24回シニアOBの集い 10月21日(日)～22日(月)

吉野大次郎 (2期)

第24回シニアOBの集いは2012年10月21日(日)～22日(月)、栃木県塩原温泉「湯守田中屋」で開催されました。今年も関西からの参加はありませんでしたが、1期から8期までのOB及びその家族の総勢54名が参加しました。

今回は塩原温泉を拠点にして、栃木県と福島県にまたがる全6コースを歩きました。

初日は、A(福島)二岐山、B(栃木)剣ヶ峰～大入道、C(栃木)塩原溪谷遊歩道やしおコース散策の3コースに分かれて歩き、夕刻、塩原温泉の湯守田中屋に集まりました。Aコースの二岐山はかなり遠方でしたが、今年のAコース武尊山のようなトラブルもなく、17時には宿に到着しました。

集いの宴は18時、この1年間の物故者への黙祷に続き、嘉納代表幹事の開会の辞で始まりました。2期渡辺さんの乾杯の音頭、月例会の参加回数賞の表彰、シニアの活動2012(スライドショー、塚原月例委員長口演)、各期紹介、みはるかす合唱とエール、記念撮影と全ての行事が滞りなく行われました。

宴のあとは各期ごとの2次会で楽しく過ごしました。

2日目は、A(福島)七ヶ岳、B(福島)田代山、C(栃木)塩原自然探求路新湯富士(アラユフジ)～大沼園地散策が行われました。月曜日実施のお蔭で、登山口駐車場も楽に止められ、登山道も混雑することなく、快適に歩くことができました。

今年は2日間とも天気恵まれ、紅葉も丁度見頃で、皆さん十分に日本の秋を満喫されたことと思います。

月例会の参加回数賞の受賞者は下記のとおりです。

30回参加賞 … 諸節紀代子 (3)、諸角絢子 (5)、綾部和子 (8)

50回参加賞 … なし

100回参加賞 … 白井信行 (3)、岡田光豊 (6)

今回はシニアの集い参加回数賞は該当者がありませんでした。



1A 那須連峰 ふたまたやま 二岐山 (1544m)

参加人数・・・6名

早坂 宗 (8期)

昨年の1A「武尊山」が強烈だったせい、今年の1A参加者は6名と少々寂しかった。

9時15分に全員「新白河駅」に集合し出発。登山口までかなり遠く、途中「道の駅」に立ち寄って登山口の御鍋神社・駐車場到着は10時30分。日曜日ということもあり、数台の車が先着しており、地元での人気伺える。

支度を整え、いざ出発！「熊・ハチに注意」の看板が出ている。歩き始めてすぐ「八丁坂」の急登となる。

登山道は手入れされているとは云い難いが50m間隔くらいにガイドの赤符があるのはありがたい。

周りはアスナロ、サワラ、ミズナラ等の混生林、古木・老木にはいろんなキノコが群生している。次の「あすなろ坂」を登りきると立派なブナが立ち並ぶ「ブナ平」に着く。リンドウが沢山咲いている。陽も翳りがちで風も強くなってきた。ここから泥濘道に苦労する。最後の「男岳坂」を登って12時25分男岳山頂着。

瞬間的に雨がぱらついた。記念写真を撮り昼食。曇り空で残念ながらあまり遠望がきかない。30分休憩後急坂を慎重に下山。降り注いできた陽光が木々の秋色を感じさせる。御鍋神社に立ち寄り、御神体の大鍋を見てから駐車場に戻る。今年は滑った、転んだの話のない楽な1Aだった。6名だけの実に静かな山旅が終わった。



1B 紅葉の高原山 剣ヶ峰 (1590) ~大入道 (1402)

参加人数・・・21名

岡田 光豊 (6期)

21名という最多の参加者を得て、7台のマイカーが動員された。「山の駅たかはら」に集合の後、2台を下山場所の小間々にデポし、大間々台から歩行を開始した。

★1.5のコースである。リョウブとヤマツバキの林を上り八海山神社を過ぎると、眼前に釈迦ヶ岳や男体山とモミジした裾野が開け、一同歓声。さらに深まりゆくヤマツツジ、シロヤシオ、カエデの赤や黄色のお風呂を泳いで進むと、剣ヶ峰に到着したが、狭いピークで一同がっかり。



皆、早朝出立のため空腹感しきり。それでも、ササの生い茂る足元に注意しながら下ってゆくと、鮮やかな黄色の葉を付けたカンバの白い幹を交えて、真紅のカエデやシロヤシオのなんと見事なことか。花期のシロヤシオはさぞやと思わせる。一同満足。縄文躰躰(ツツジ)はなかなか趣のある(?)古木だが、ここで待望の昼食。大入道、桜沢を経て全員無事、小間々に到着。好天に恵まれた紅葉狩りであった。

1C 塩原溪谷遊歩道 やしおコース

参加人数・・・17名

橋本明美 (7期)

宿泊旅館集合 11時はシニアの集い始まって以来? 寄る年波でごゆっくり。分乗して、歩き始め地点の塩原ビジターセンターへ。11時20分出発。まもなく、箒川沿いの遊歩道へ。瀬音爽やかな川中や岸边には釣り人が秋の日を浴びて盛んに竿を振っている。聞けばニジマス釣りとか。ほどなく福渡不動吊り橋というところで

対岸の露天風呂に衣まとわぬ男性の姿。橋を渡り木陰の歩きやすい道を 20 分で不動の湯へ。ここにもアダムとイヴが。この地域の露天ぶろは混浴が普通のように。適温の足湯もあり、最初の休憩。靴下を脱ぎ換えたご仁には気の毒ながら、出発。

12:00 キャンプ場の芝生で昼食。樹と戯れ、日向ぼっこをしてから 12:40 出発。13:10 布滝観瀑台。流れがまとまって白い布を晒したように見える滝は、対岸の始まったばかりの紅葉を加えてなかなかの趣。

本日一番の上り下りのあと 13:30 静かな木々の間での午後のティータイム。青い水をたたえたかわいらしい箒川ダムを渡って車道へ最後の上り。

到着、ときに 13:55。記念撮影ののち、車回収組と宿へ歩き組に分かれ、シニアにふさわしいささやかな紅葉とゆたかな緑の中のゆったり歩きの渓谷散策が終わりました。



2A 南会津 七ヶ岳 (1636m)

参加人数・・・9名

早坂 宗 (8期)

前夜のビックリアクシデントで急遽リーダー交代。翌朝本人はピンピンしていて、「自重を！」との多くの声を振り切っても「登りたい」気持ち止み難く結局同行。

下山口への配車を終え、羽塩登山口を 9 時 15 分出発。見事な白樺林の中の平坦な道を沢音を聞きながらのプロムナード、気分が良い。やがて平滑沢の沢登りとなる。水深も浅く急傾斜にはロープの補助もある。でもやはり所どころは滑りやすい。「キャー」とか「アァー」とかの嬌声が聞こえる。おばさんたちが楽しんでいるんだ！

沢が狭まり草木が増え源頭部から尾根に出してしまう。「沢をもう少し楽しみたかったなー」が皆の気持ち。

ここからのブナ林の中の急登は半端でない。木の根やゴロ岩を跨ぐ。巨岩累々にはロープが懸っていた。登れども登れどもなかなかピークが望めない。やがてシャクナゲが現れ、11 時 50 分待望の七ヶ岳ピークに着く。記念撮影と昼食。一等三角点の展望抜群の山頂のはずだが残念ながら雲が多くあまり遠望がきかない。

いよいよ多くのピークを持つ鋸尾根の縦走にかかる。眼下の紅葉が実に素晴らしく思わず歓声を上げながらの漫歩だ。4 つ目のピークに独標があった。紅葉を愛でながらアップダウンをこなし、9 つ目のピークの「下岳」で写真を撮る。色とりどりの落ち葉を踏みしめながら 11 のピークを踏み、下山口分岐に着く。ここから足が縛れる程の急坂を一気に下山。

15 時に朝の配車場所に帰着。皆「沢登り、岩登り、稜線縦走、見事な紅葉」にご満悦の様子。下見にご苦労された腰塚さんのプランの賜物である。



2B 尾瀬国立公園 田代山 (1926m)

参加人数・・・19名

吉野大次郎 (2期)

2 日目の B コースは花の百名山田代山です。19 名が車 6 台に分乗して 8 時すぎ、勇躍猿倉登山口に向かって走り出しました。登山口まで 75 km、ノンストップで 1 時間 40 分くらいかかります。夏は花で有名ですが、秋の田代山はどんな感じでしょう。胸をわくわくさせながら沼田街道 (352 号) を飛ばして田代スーパー林道に入りました。湯の花温泉を過ぎてしばらく行くと車窓から左右の紅葉が飛び込んできました。うーんきれいだなあ！と眺めているうちに砂利道となり、予定通り 9 時 40 分猿倉登山口につきました。

10時出発、花はありませんが紅葉は素晴らしいです。登りは急ですが、しばしば顔を上げては紅葉に見とれました。鮮やかな黄色は桂の紅葉です。小田代を過ぎると紅葉はなくなり、広い池塘の山頂の草紅葉は終わったあとのようでした。それでも名前の通りの山頂は競馬場のように平らで広く、濃いえんじ色が終わったあとの茶色の草紅葉もまた落ち着いた秋の風情を感じました。

木道を歩き大師堂の裏で幹事心づくしの美味しい昼食をとりました。ここから帝釈山に向かう稜線は、絶滅危惧種のオサバグサがたくさんあります。今は葉だけですが、夏には白い花を盛大に咲かせます。

木道を一回りして、朝登った道を登山口に向かいました。小田代を経て最後の休憩をしていると、別行動で帝釈山まで行った小木曾氏(7期)、佐木氏(8期)が合流しました。一緒に下り15時10分、21名全員無事に登山口へ下山しました。

横浜まで280km、素晴らしい紅葉の余韻に浸りながら、各車帰路につきました。



2C 塩原自然探求路 ^{あらゆふじ}新湯富士(1184m)～ 大沼公園

参加人数・・・10名

服部七郎(7期)

参加者10名、余裕の朝8時半の出発。「新湯富士」(あらゆふじ)の登山口、新湯温泉神社入口へ向かう。新湯富士は約六千年前に形成された溶岩ドームと云われる。登り始めると直ぐに硫黄の臭いと湯けむりが。小型版の大涌谷のようだ。登山口の温泉神社には室町時代の1518年建立と云われる考古資料、有形文化財「石幢」があった(2期の斉藤さんは前日に立ち寄ったそう)。富士山とはいえど標高差はたったの284m。ところどころ色づいた気持ちの良い森林の中をアスナロやトチノキ・ミズナラの大木を観ながら約1時間で登頂に成功。

下りは一転して溶岩石の急斜面あり。本格的な登山気分に変化もまた楽しい。約40分下ると大沼畔へ。大沼は葦(かや)の大群落で晩秋には一面の黄金色となるはず、だが、今年は…。ここで早めの昼食をとって一路塩原温泉へ下る。ブナの大木や杉林の中を辿るなだらかな下り道。下りにカラキシ弱い某氏も楽々チンの散策道であった。

13:10車をデポしておいた駐車場に無事到着。行程8.0km、所要時間4時間。帰路は、三々五々「日塩もみじライン」をドライブし日光経由で東北道へ、夕刻にはそれぞれ帰京した。

集いのような機会がなければ、わざわざ訪れることもない名も知れぬ山へ登れたと一同ご満悦であった。



集いのフィナーレ・みはるかす



■ 写真で見るワングル今昔

編集委員会 編

前号に引き続き YWV 歴史資料館の中の映像館のご紹介です。今回は「創部 6 年から 10 年 1963～1967」を覗いてみましょう。OB 会員の皆様、ご自身やお知り合いの方を探してみてください。若かりし青春時代にタイムスリップをしたい時は YWV 歴史資料館 <http://www.ywrekishikan.sakura.ne.jp/index.php> に是非訪れてみてください。



創部 10 周年記念登山 大室山 1967 年 (全員)



(1～8 期)



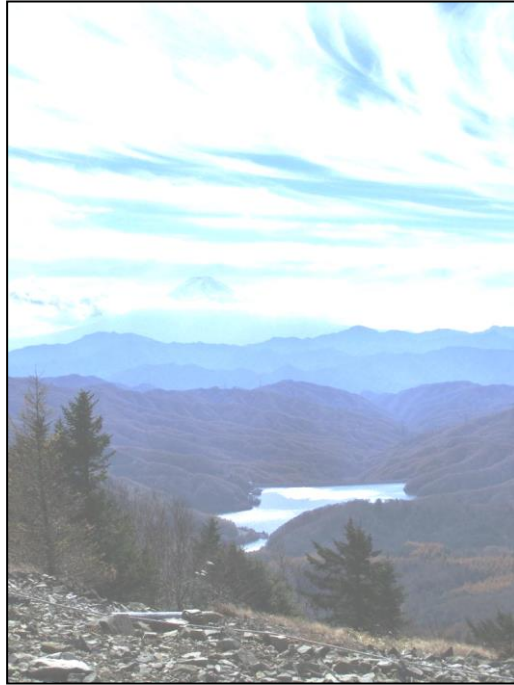
(9 期)

■ 編集委員会から

編集委員長 石垣秀敏 (20 期)

皆様はもうお気づきでしょうか。会報第 48 号から裏表紙の写真は富士山を載せています (ただし、第 51 号だけは自由投稿の槍ヶ岳の写真が綺麗でしたので富士山は休みました)。富士山はやはりどこから見ても美しい日本一の山ですね。勝手に YWVOB 会富嶽三十六景を目指して、写真を収集していきたいと思います。

さて、早いものでもう師走です。1 年が過ぎるのが段々速くなってきたと感じるのは小生だけでしょうか。会員の皆様が本会報第 52 号をご覧になるのは、「今年も残すところあと数日」と言っている頃だと思いますので、少し早いですが、「皆様、よい年をお迎え下さい」。



雷岩先からの富士山・大菩薩湖
撮影 9期 鈴木弥栄男氏

編集委員会では皆様からの投稿をお待ちしています。

自由投稿コーナーの原稿、写真、スケッチなどどしどしお寄せ下さい。

宛先 石垣秀敏 (20期) gakky@s2.dion.ne.jp

成島和仁 (22期) suikyou3@m3.spacelan.ne.jp

YWVOB 会会報第 52 号

発行 行： 横浜国立大学ワンダーフォーゲル部 OB 会

発行 日： 2012 年 12 月 23 日

発行 責任者： 鈴木弥栄男(9)

編集 責任者： 編集委員長 石垣秀敏(20)

編集 集： 編集委員 成島和仁(22)

印刷 所： 株式会社 カワチャ・プリント (東京都港区新橋 5-31-7)

編集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。